

【奨励賞】

株主優待の DX 化

～紙ベースをデジタルに NFT 化の提案～

麗澤大学 経済学部

永井 喬

//

大場 貴登

(要旨)

現状の紙ベースの株主優待には複数の問題点がある。まず、企業側には、紙媒体の印刷や郵送に多額の費用が発生する。利用者側は、優待利用の際に紙媒体を物理的に持参する必要があるため使い勝手が悪く、破損や紛失の可能性がある。優待を受け入れる店舗側には、紙の優待券を回収し、集計して発行企業に送るといった回収コストが発生する。

本論文では、こうした問題意識のもとで、NFT (Non Fungible Token) を使った「株主優待の DX 化」を提案する。NFT の利用により、上述の問題が解消することは勿論、偽造や改ざんができなくなる。加えて、NFT の特徴であるプログラマビリティの活用で、転売の抑制や、大口所有者や長期保有者向けに対して従来よりもきめ細かく得点を設定するといった付加価値の付与も可能となり、単なる IT 化より高度なサービスを実現できる。

本提言の実現により、便利で使いやすい DX 化された株主優待が普及し、若者の株式投資が促進されることを期待する。